

世界の WATCH SPECIAL TOKUMA SHOTEN 定価1200円 (タウンムック)

本格腕時計大鑑 2000~2001

GoodsPress グッズプレス特別編集

特集

ウオッチ・デザインの未来

ヤイコー・パネライの軌跡

ドイツ文化圏から誕生した3人の革新者たち

ポルシェ・デザインの創作活動



スイス特殊工房の職人たち

スペシャリスト

AHC-メバードによる特別座談会
「時計師の夢とスイス時計の明日」

素材研究読本
「宝石と宝飾技術の世界」

チューリヒの老舗時計店チューラーに静座する
「超複雑天文時計」スマクロックとは?」

広島・岡山・鳥取編

新・日本時計店探訪記
厳選「2000~2001

ブランド別時計コレクション」

リアルアンティークウォッチセレクション
「大人の愉しみ懐中時計大研究」

スイス時計 スペシャリスト SWISS WATCH REPORT 2000 SPECIALISTS

技の研鑽・知恵の集積・創造力の発露そして芸術性——新世紀を静かに迎える

高次元の技術と独特的な美的感覚でスイス時計の一角落を担うスペシャリストたち。個人あるいは小人数で淡々と仕事を進める彼らのアトリエを訪ねるジャーナリストはあまり多くない。日本どころかスイスでも知られることの少ない彼らの仕事を我々が取材する理由は、スイス時計とりわけ最高級といわれる時計ブランドは彼らの力なくしては存在できないと思うからだ。それほどにスペシャリストたちの存在意義は深いのである。常日頃、時計をブランド名でしか認知できない傾向にある我々にとって、彼らの全仕事を追求することは大切なことなのである。(なお、一部のスペシャリストは現在でも日本の代理店が存在しないものがありますが、あらかじめご了承ください)

取材・文／名畠政治
Report & Text / NABATA Masaharu
撮影／高橋和幸 (PACO)
Photo / TAKAHASHI Kazuyuki (PACO)
協力／三島勤也, AHCI
Special thanks / MISHIMA Kinya, AHCI

Paul Gerber



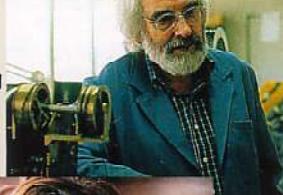
Andreas Strehler



Jaquet-Droz



Jörg Spöring



Svend Andersen

Jean-Vincent Huguenin



Muriel Séchaud

Pierre Schneeberger



2000年春のバーゼル・フェアで発表されたリスト・ウォッチは、「既存の懐中時計と同じ機構が腕時計でもできないか?」という問い合わせに答えて開発されたものだという



簡単な表現に隠された独創の複雑機構。

弱冠29歳のスゴ腕時計師

Andreas Strehler

時計師 アンドレアス・ストレーラ

アンドレアスの時計は、なかなかのくせ者である。たとえば新作の腕時計。ツルンとした外観は複雑時計のイメージにほど遠い。だがボタンを押すと、短針と長針が瞬時に移動し、日付を表示する。一体全体、どうやってこんなシステムを実現しているのか。そして、こんな奇抜な着想をたったひとりで形にしてしまうアンドレアス・ストレーラとは、一体、どんな時計師なのか。とりつく島もないツルンとした時計を手に、好奇心がムクムクと膨らんでくる。



SWISS WATCH
REPORT
2000
SPECIALISTS

アンドレアス・ストレーラ
Andreas Strehler

1971年生まれ。AHCI(アカデミー)会員。ソロトゥーン時計学校卒業後、ルノー・エ・パビに入社し、新規キャリバー開発を担当。5年前、独立し工房を開く。AHCIには、3年前に入会

↓リスト・ウォッチ 價格未定 2000年のバーゼル・フェアにおいて発表された、アンドレアスにとって初の腕時計。基本的な機能は「ツヴィイ」とほぼ同様ながら、月は表示しないなど、ややシンプルになっている。操作はいたって簡単。リューズの上のボタンを押すことで、短針と長針が重なって、ダイヤル外周の日付を指し示す。18KYGケース。日本発売未定





▲作品の製作も行うが、現在の仕事の中心は古い時計のレストアだという

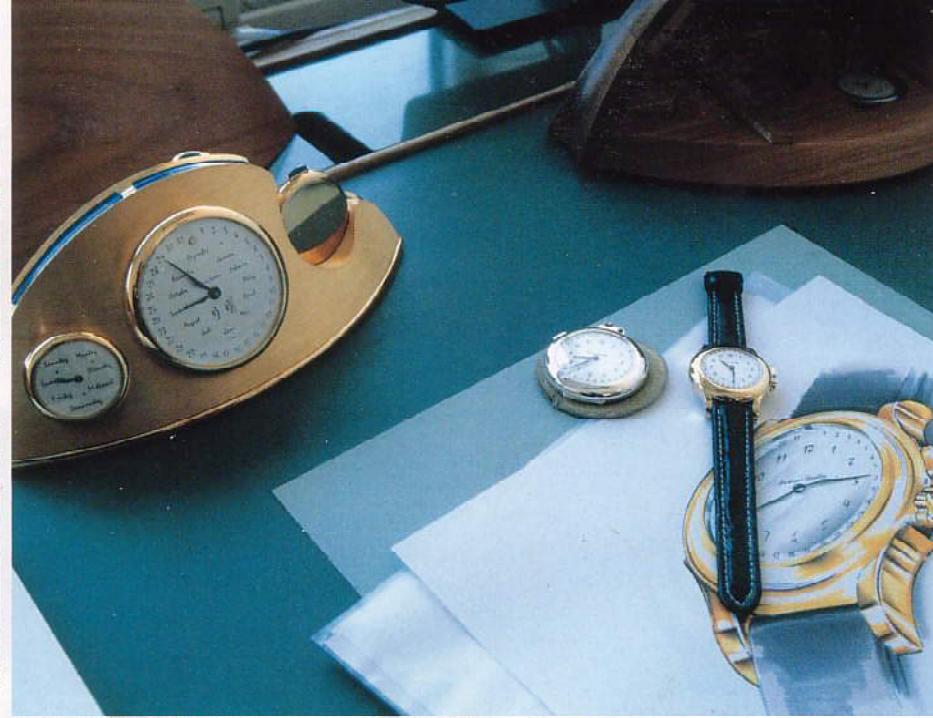
お父さんのワルター氏と並んだアンドレアス。お店は普通の住宅街の中にある



店内にはいくつものクロックが置かれているが、これらの修復は主に父上が担当

革新的な時計を作りたいね。今の時計って、古い技術の応用がほとんどで、どれもみんな保守的だから。

自動車教習所の教官を務める父、ワルター氏は、20年以上も前から時計修理が趣味。その影響を受け、幼い頃から時計に親しんだアンドレアスは、14歳でソロトゥーンの時計学校に入学する。そして4年後、卒業の時期を迎えたアンドレアスは、「たまたま募集があったから」と、設立後間もないルノー・エ・パビに入社する。ルノー・エ・パビといえば、現在ではオーデマ・ピゲ系列のムーブメント開発会社として、スマートでもトップクラスの実力を誇る時計工房。彼はそこで幸運にも開発部に配属され、新規キヤリバーの開発に従事する。彼が手がけたのはAPのジャンピングアワー・ミニツツリピーターや超一流メーカー向け複雑時計キヤリバーなど。まったく20歳



▲これまでに製作した作品やイメージ・スケッチなどが無造作に置かれたアンドレアスのデスク

アンドレアスの製作する時計は、現在のところ我が国への入荷予定はない。ただし、本当に購買する意欲があるなら、直接、オーダーしてしまうという手がある。その場合の窓口となるのが、彼の個人ウェブ・ページ。U.R.L.は下記のとおり。表示言語は英・仏・独の3カ国語。もちろん、注文までしなくとも、彼の時計に関する情報が入手できるので、時計ファンならアクセスする価値はあるはずだ。

直接オーダーも可能なアンドレアスのパーソナル・ウェブ・ページ

<http://www.astrehler.ch/>

ここでおよそ5年間、複雑時計の開発を担当したアンドレアスは、'95年にルノー・エ・パビを退社し、故郷のチューリヒ郊外の町に自分のショップを開業させる。

「たとえどんなに凄い時計を作つても、それがAPの時計であれば、自分の名前が刻まれることはない。でも、独立すれば自分が作った時計には自分の名前を入れられる。そして、その時計を世界中の人が使ってくれるわけです。これは時計師として大

きな喜びだし、夢だった。もっとも、その時計は非常に特別なものだから、ごく限られた人にだけどね」

アンドレアスのいうとおり、彼の作る時計は特別だ。最初の作品であるザ・バー・チユアル・カレンダー



▲ツヴァイイ・ハ格ホ定 シルバーメイドのケースに収められたシンプルなウォッチだが、プッシュボタンを押すと、短針が月を、長針が日付を表示するというユニーク・ピース。たった2本の針で4つの情報（月、日、時、分）を表示する、ストレーラ流コンプリケーション。日本発売未定





ザ・バーベチュアル・カレンダー 値格未定 アンドレアスにとって独立後最初の作品。クロックの巻き上げは、背面にあるノブを押し下げるだけ。1回の巻き上げで3000時間、つまり約4カ月のパワーリザーブを保持。このユニークなシステムもアンドレアス独自の開発である。日本発売未定

SWISS WATCH REPORT 2000 SPECIALISTS

Andreas Strehler
アンドレアス・ストレーラ

「普通の時計というのは2000年前からある技術を応用したものがほとんどだけど、僕は本当に革新的なものを作りたい。ただ、一般的の常識からみ出たものというものは、その存在そのものを理解させるのが難しい。逆にどんなに複雑でも、トライディショナルな技術に立脚したものなら、顧客も過去に対する知識を応用することで理解が可能だ。もちろん歴史的な技術に対する知識を軽視しているわけじゃない。革新的な仕事を実現させるには、歴史的な技術と斬新な着想の、両方が必要なんだ」

通のコンプリケーションとは意味の異なる複雑さが込められている。このモデルでは、外装デザインとケースは宝飾店に作ってもらった。残念ながら、注文はまだないんだけど……」というわけで、現在の仕事は安东尼ーク時計の修復と、他社向けのムームーブメント開発が主体だというアンドレアス。ただし、他社向けには開発だけを行い、限定版のシリーズ製作といった仕事は受けない。それが独立時計師としての彼のポリシーだが、彼には製作する時計にはすべて自分の名前を刻む、という強い信念がある。

「普通の時計というのは2000年前からある技術を応用したものがほとんどだけど、僕は本当に革新的なものを作りたい。ただ、一般的の常識からみ出たものというものは、その存在そのものを理解させるのが難しい。逆にどんなに複雑でも、トライディショナルな技術に立脚したものなら、顧客も過去に対する知識を応用することで理解が可能だ。もちろん歴史的な技術に対する知識を軽視しているわけじゃない。革新的な仕事を実現させるには、歴史的な技術と斬新な着想の、両方が必要なんだ」